



こすもスマイル

28号



発行／小林市立病院
地域医療連携室

平成29年11月8日発行

～副病院長のあいさつ～



皆様には地域連携にご協力いただき、ありがとうございます。

2017年もあと残りわずかとなりました。全国各地で地震や豪雨による被害が多発した年でした。

私は、小林市立病院で手術のための麻酔を担当しています。患者さんの手術が予定通り問題なく終わり、その後の順調な回復を願いながら、手術麻酔を担当しています。

患者さんの順調な回復のためには、手術前のからだの状態の評価が重要です。手術を受けることになった病気によって影響を受けたからだの状態を、可能な限り良くしておくこと、すでに持っておられる病気を好ましい状態にしておくこと、服用されているお薬の麻酔や手術への影響を確認すること、麻酔や手術によるからだの臓器への影響を最小限にすることなどを心がけています。それらとともに、術後の疼痛の管理や栄養の管理が大切となります。

患者さんの早期の回復を助けるために、手術中の麻酔管理だけでなく、各科の先生や看護師、管理栄養士、リハビリスタッフと協力し合っています。

術前、術中、術後の管理にたずさわるところで、地域医療の推進に協力したいと思っています。

これからも、ご協力とご指導をよろしくお願いします。

小林市立病院 副病院長 窪田 悦二

理 念

「安心、安全で信頼される病院を目指します」

【基本方針】

- ◎ 西諸の中核病院として、地域の医療機関と連携し、高度な医療を提供します
- ◎ 職員一丸となって、迅速な対応とチーム医療で、安全な医療を提供します
- ◎ 誠実かつ真摯(しんし)な姿勢で日々研鑽(けんさん)に努め、信頼される質の高い医療を提供します
- ◎ 自治体病院として、平等で心が通い合い、安心できる快適な療養環境を提供します
- ◎ 患者様と家族の満足を追求し、プライバシーの保護をはじめ患者様の権利を尊重します



看護部紹介

今回は

外 来

です。

FUN RUN!
5月 お揃いのTシャツ
でえびのマラソンに参加
しました!



秋風が気持ちのいい季節になりました。8月の猛暑を考えると過ごしやすくなりましたが、秋の日はつるべ落とし・・・少し寂しさも感じます。食欲の秋、スポーツの秋、外来スタッフ20名、それぞれ仕事に遊びに精いっぱい頑張っています!

今回は、『外来化学療法室』をご紹介します。

当院は平成21年の病院新築の際、4床のベッドと1台のリクライニングシートを有する外来化学療法室を新設しました。平成28年度は、延べ約640件の化学療法のうち339件が外来化学療法室で行われました。外来化学療法で着目されるべき点は、がんの患者さんが治療を受けながら平生の日常生活や社会生活を送り、その患者さんのQOLの維持向上を保証されることです。

私たちはこれらを目標に、6名の看護師が交代でがん化学療法を受ける患者さんの看護を行っています。一人一人の看護計画を立案し、患者さんの声を聴き生活指導を行っています。また、毎週金曜日に化学療法カンファレンスに参加し医師、病棟看護師、管理栄養士からも意見やアドバイスをいただいています。今年度、緩和ケア認定看護師が誕生し、がん専門看護師も採用されたことで、患者さんだけでなく外来化学療法室で勤務する私達もアドバイスを受けることができ心強いところです。今後もよりよい看護提供を目標に、多職種と協働していきたいと思えます。



ウィッグやケア帽子、保湿剤のサンプル、パンフレットを設置しています。

ガラス張りの明るい
治療室です



外来師長 武田 愛

コメディカル紹介

今回は **医 事 係** です。



医事係の紹介をします。

スタッフ8名で外来部門と入院部門を担当しています。

平成29年5月から予約制の妊婦健診を開始しました。スタッフの中に、産婦人科部門の経験者がおらず、診療情報の手引を調べ、近隣施設からの協力を頂き、運用手順の作成を進めていきました。

9月の医事係ミーティングでは、産婦人科疾患の算定方法の勉強会を実施しました。今後、平成30年4月に診療報酬改定も控えています。

当院では、同じく4月にDPC体制への移行と7月に産科分娩受入の再開が予定されています。

医事係は、入院及び外来担当別の会計業務に加え、労災、交通事故、健診等の付帯業務やレセプト業務に追われ、遅くまで残る日々が続きますが、他職種と情報共有し、連携を図りながら前進していきたいと考えています。

スタッフへの一言インタビュー

「今年の秋に楽しみにしていることは何ですか？」

について聞いてみました。



子供、孫の成長を楽しみにしながら、仕事や色々なことに挑戦して行こうと思っています。

新米！塩おにぎりで豚汁と一緒にいただくのが楽しみです。

友達とプチ旅行。美味しいものを食べて秋を満喫したいです。

友人に会いに初めて一人で東京へ行きます。緊張もしますが、楽しみにしています。

家族で日南に小旅行。イセエビを食べてきます。

恒例の紅葉と温泉。今年の候補は3か所。幾つ行けるか楽しみです。

甥の結婚式に、久しぶりに家族で遠出するのを楽しみにしています。

ロードバイクでサイクリングイベントに参加します。ランチ、茶道、座禅を盛り込んだイベントです。

中学校最後の息子の新体操の演技会が、11/11に開催されます。それに向けて練習頑張っている息子を応援するのが楽しみです。

子供ももうすぐ3歳。今秋は、趣味のキャンプを再開。秋の夜長に星座、虫の声、BBQを楽しむ予定です。

医事係 看護師長 若松 恵子

11月行事食

勤労感謝の日



おしながき

- ・ちらし寿司
- ・煮しめ
- ・赤魚のゆずみそ焼き
- ・茶わん蒸し
- ・茶そば汁
- ・刺身こんにゃく
- ・甘酒

～甘酒のレシピ～ (4人分)

○ 材料

- | | | | |
|-----|------|----|--------|
| ・酒粕 | 100g | ・水 | 800cc |
| ・砂糖 | 70g | ・塩 | 小さじ1/5 |

○ 作り方

1. 水を鍋に入れ火にかける。沸騰したら火を止め酒粕を一口大にちぎり鍋に入れ、約10分放置します。
2. 酒粕が柔らかくなったら、再び火にかけ、しっかり溶けるようにかき回しながら沸騰させます。
3. 沸騰したら砂糖と塩を入れひと煮立ちさせれば完成です。

※すりおろした生姜をお好みで入れてもおいしいです。



ほぜ祭

五穀豊穡を祈願し豊年に感謝する秋祭りです。祭りでは蒟蒻(こんにゃく)や甘酒が作られます。当院では勤労感謝の日に行事食の一品として提供しています。



院内研修

平成29年度 第2回 小林市立病院 院内感染対策委員会による全体研修が10月23日(月)に行われました。

小林市立病院 感染管理認定看護師 田中久雄主任看護師により「インフルエンザと感染性胃腸炎の対応について」の内容で行われました。



感染管理認定看護師よりひとこと

これから流行しやすい感染症対策について

10/23 院内感染対策研修会を行いました。
感染防止対策で最も重要なのが手洗いです。

これからの季節は、しっかりと手洗いをするか、アルコールで手指の消毒を行うなど、より一感染防止への注意が必要です。右の写真は嘔吐物処理の手順を動画作成し、わかりやすく説明を行っている様子です。

一人一人が主役であることを忘れず、感染防止に努めましょう！



地域医療連携室よりお知らせ

診察予約について

当診療科での待ち時間短縮を目的として
紹介患者様の事前予約を行っております。

おしらせ!



予約方法

- ① 別添の「診療予約申込書」にご記入のうえ、FAXでお送りください。
- ② 担当科と協議の上、診療日時を決定し、「診療予約通知書」をFAXさせていただきます。

FAX番号：0984-23-8226

※時間以外のFAXは翌朝、休日をはさむ場合は
休日明けの対応となりますのでご了承ください

受付時間：9時～16時

連絡先

小林市立病院 地域医療連携室

TEL 0984-23-8225（直通）

FAX 0984-23-8226

Mail k_hosp4@city.kobayashi.lg.jp

今回のお花

小林華道連盟より
毎週すばらしいお花をいただいております。



編集後記

初めまして！今年7月から連携室に配属になりました、佐藤春奈です！
頭を使うより体を動かす方が好きでしたが・・・先日参加した子供の運動会で少し走った？だけなのに筋肉痛になりました。これから秋本番！ジョギング始めようと心に誓いました。
漢字は苦手、敬語もうまく使えませんが関係者の皆様！ご迷惑をおかけします！その分頑張りますので
よろしくお願い致します！



地域医療連携室 佐藤 春奈